

発言No.

15

受付No.

13

令和 3 年 2 月 15 日

10 時 4 / 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番

氏名 小川 稔 宏

答弁を求める者

☒ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 タクシー事業者への支援策について

民間路線バスの減便、路線廃止に加えタクシー事業者の休業により、中山間の公共交通は危機的状況にあり、維持・存続のための対策は急務である。

(1) 2020年末に休業されたタクシー事業について

- ①市の現状認識と市民生活への影響について伺う。
- ②事業者の要望への対応状況と課題について伺う。
- ③タクシー事業者支援に対する市と県の役割分担について伺う。

2 誰もが暮らしやすいまちの環境づくりについて

(1) ヘルプマークの普及・啓発について

外見からは分かりにくいが援助や配慮を必要とする方が、周囲の方に知らせるためのツールだが、市民の理解が広がっていない現状がある。

- ①ヘルプマークの交付数と認知度について伺う。
- ②公共交通機関等での周知状況について伺う。

(2) コミュニケーション支援希望カードについて

マスク着用が当たり前の日常生活で、口元が見えず話しかけられても気づかないこと、ビニールカーテン等で聞き取りづらいことを相手に伝えることのできる「支援希望カード」を市が作成し周知してくれたら助かるとの声がある。

- ①耳が聞こえない、聞こえづらい人等が、傷病に関わらず使えるカードの製作について伺う。

3 子どもの精神的満足度、幸福度の改善について

2020年9月に国連児童基金（ユニセフ）が公表した報告書では日本の子どもの精神的幸福度は38カ国中37位となっている。コロナ禍で多くの学校行事の中止や規模縮小により、子ども達は不満足な学校生活を強いられ、さらに深刻化している状況にある。

(1) 子どもたちの満足度、幸福度を向上させるための取組について

- ①コロナ禍でも学校行事の中止、縮小をせず実施する努力がされているか現状を伺う。
- ②上意下達でなく子どもたちが納得できる対応が必要であり、子ども達の意見を反映できる仕組づくりを求めたいが、市長の所見を伺う。